

平成 30 年度兵庫県中学校高等学校青少年赤十字協議会例会（第 3 学期）報告書

- 1 日 時 平成 31 年 2 月 3 日（日） 10:30～15:00
- 2 場 所 日本赤十字社兵庫県支部
- 3 担 当 兵庫県立上郡高等学校
- 4 参加者 加盟校メンバー・指導者、
兵庫県青少年赤十字協議会、支部職員【計 41 名】
〈メンバー参加校〉



兵庫県立尼崎北高等学校、兵庫県立柏原高等学校、兵庫県立加古川東高等学校、
兵庫県立上郡高等学校、兵庫県立龍野北高等学校、神戸第一高等学校、
滝川第二中学校・高等学校、親和中学校

5 内 容

今学期の例会では、平成 30 年 11 月 17 日（土）よりミャンマー赤十字社から 2 名の青少年赤十字（JRC）メンバーの受入れを行い、その後本社国際交流事業に参加した兵庫県立龍野北高等学校のメンバーから、授業見学や青少年赤十字国際交流集会について報告いただきました。

続いて、平成 30 年度テーマである「奉仕」の総まとめとして「ボランティア活動を通して得られたこと」についてグループワークを実施しました。まずは、当日発表された HR（※ 1）のメンバーとのアイスブレイクを兼ねたドローイング・チャレンジ（※ 2）から行われました。各 HR とも、作戦会議の時間では改善点やコツ等を話し合い、盛り上がりながら、午後からの活動への意識を高めることができました。午後からは、各自でボランティア活動を振り返り、各 HR で活動がもたらした影響や自他の行動の変化、問題点等を共有し、発表を行いました。発表の中では「ボランティア活動では積極性や社交性、責任感を得ることができた。今後も続けていきたい。」との声が出ました。続いて、当日参加した指導者全員から、自身の考えや思い、生徒の成長を感じられたエピソード等をお話いただきました。

最後に、平成 30 年度青少年赤十字協議会高等学校協議会委員長の日野指導者より「普段の生活や活動を通じて様々な方に出会い、その方々の考え方や生き方を受け入れて、その中で新しい自分や強く大きな自分を作ってほしい。」とお話があり、閉会となりました。

（※ 1）HR（ホームルーム）：家族的な雰囲気の中で参加者が自分の考えや反省、疑問等を自由に話し合う基本的な行動の単位

（※ 2）ドローイング・チャレンジ：ペットボトルとマーカーで作った大きなペンをチーム全員の人差し指だけで支え、全員で息を合わせて模造紙に図形や絵を描き、コミュニケーション能力や問題解決能力の向上を図る。



国際交流事業報告



グループワーク